

## 市民アンケート調査結果

◇調査目的：シビックコア周辺地区の現状における評価や今後のまちづくりに対する意見・要望を把握する。

◇調査期間：平成29年12月19日発送～平成30年1月12日締め切り

◇調査対象者：市内在住の3,000名（平成29年4月1日現在、20歳から70歳未満の無作為抽出）

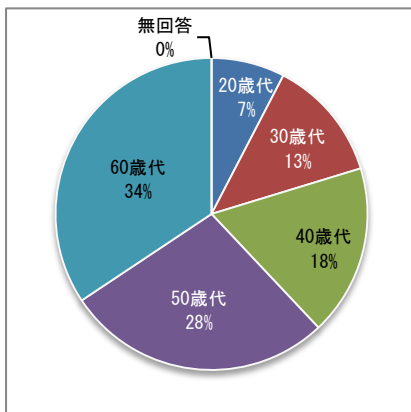
◇調査方法：郵送による調査票の配布、回収

◇回収票数：853票（回収率28.4%）

### A. 回答者の属性

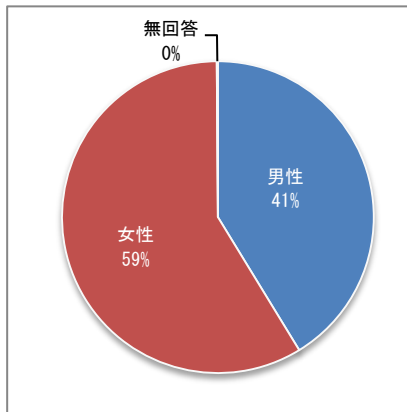
#### 問1 あなたの年齢は

回答者の年齢は、「60歳代」が34%でもっとも多く、次いで「50歳代」の28%、「40歳代」の18%の順が多い。



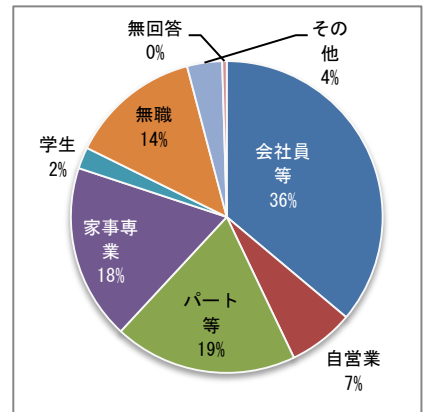
#### 問2 あなたの性別は

回答者の性別は、「男性」41%、「女性」59%である。



#### 問3 あなたの職業は

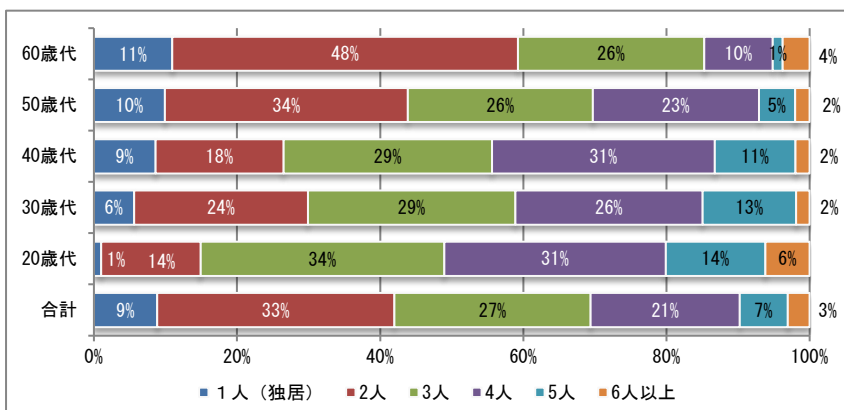
回答者の職業は、「会社員等」が36%でもっとも多く、次いで「パート等」19%「家事専業」18%の順が多い。



#### 問4 何人と住んでいるか

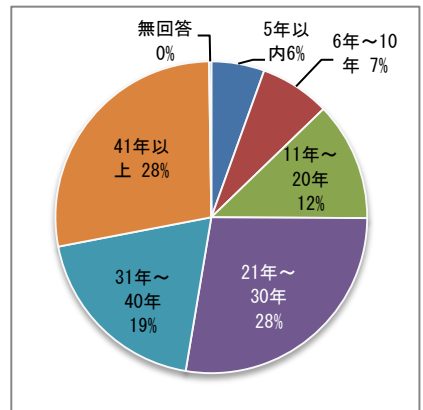
同居人数は、「2人」が33%でもっとも多く、次いで「3人」の27%、「4人」の21%の順が多い。

回答者の年齢が高くなりにつれて「1人（独居）」と「2人」の割合が高くなっている。



#### 問5 本市に住んで何年か

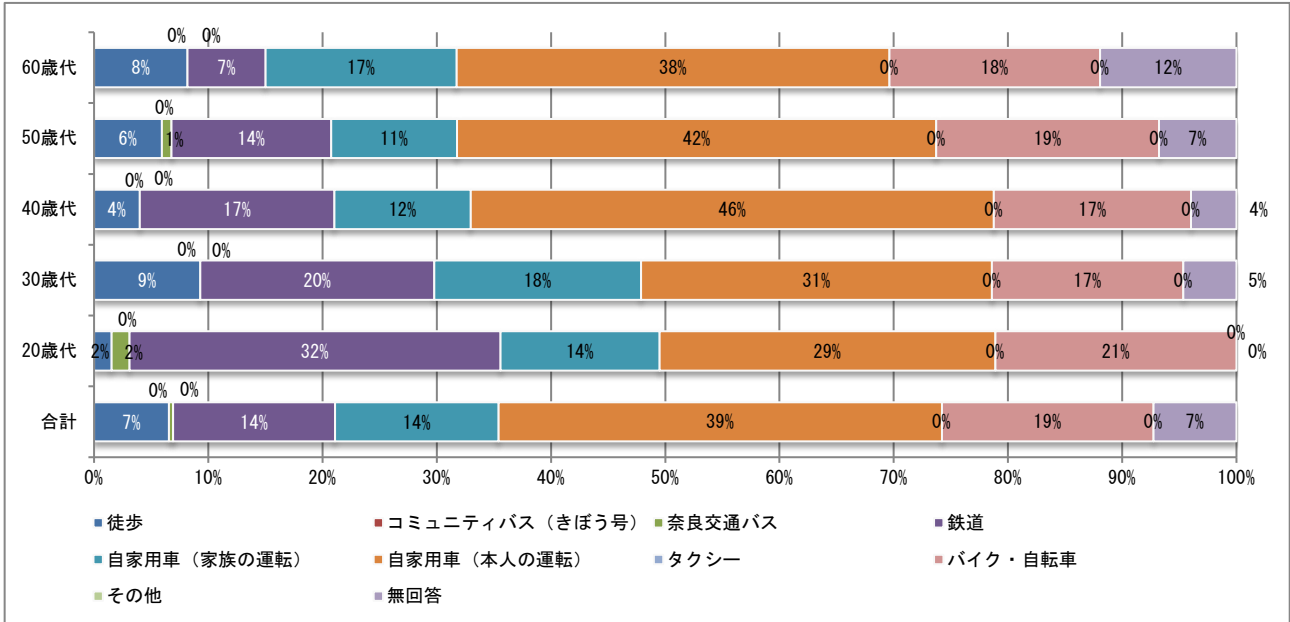
回答者の本市での居住年数は、「41年以上」が28%でもっとも多く、「5年以内」は6%と最も少ない。



### 問 6 - 1 日常的な活動（通勤・通学、買い物、通院等）の交通手段は

日常的な活動（通勤・通学、買い物、通院等）の交通手段については、「自家用車（本人の運転）」がもっとも多く39%で、次いで「バイク・自転車」19%、「自家用車（家族の運転）」14%、「鉄道」14%の順が多い。一方、「コミュニティバス（きぼう号）」及び「奈良交通バス」の利用割合は、非常に低い。

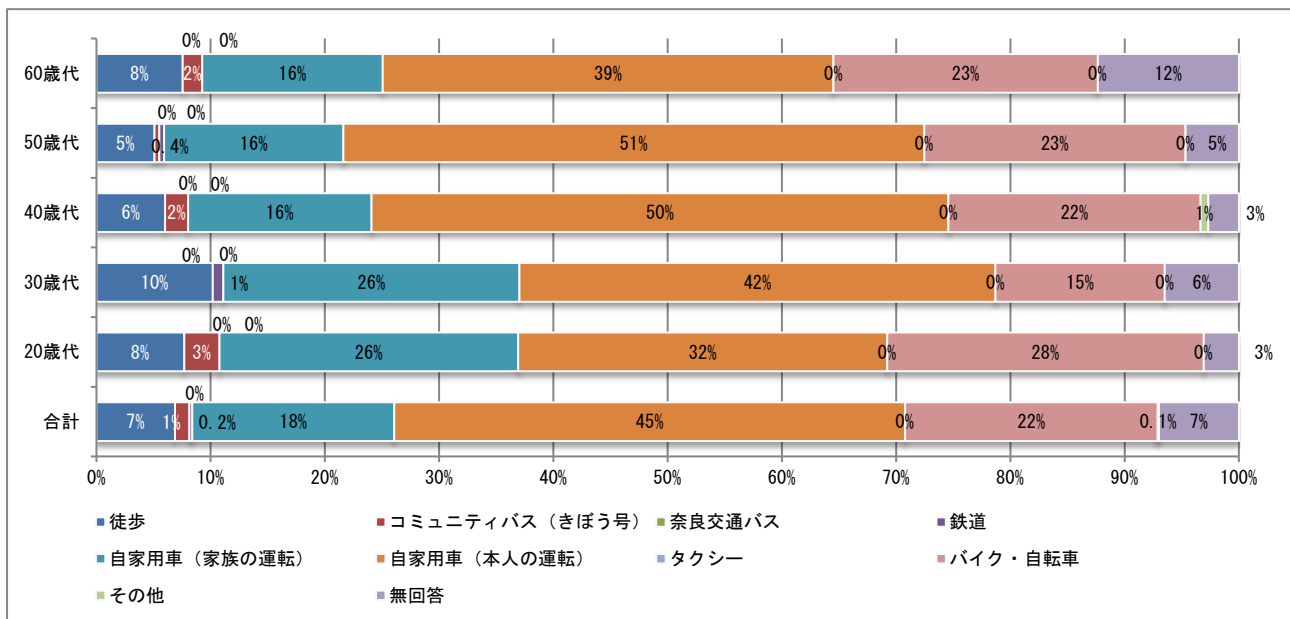
回答者の年代別では、年齢が低いほど「鉄道」の割合が高く、年齢が高いほど「自家用車（本人の運転）」、「自家用車（家族の運転）」の割合が高くなる傾向にある。



### 問 6 - 2 市役所やその周辺（保健センター、図書館等）に行くときの交通手段は

市役所やその周辺（保健センター、図書館等）に行くときの交通手段については、「自家用車（本人の運転）」が圧倒的に多く45%である。次いで、「バイク・自転車」22%、「自家用車（家族の運転）」18%である。一方、市役所周辺には奈良交通のバス停がないこともあって「奈良交通バス」及び「タクシー」は利用されておらず、「鉄道」もわずか0.2%である。

各年代別とも「自家用車（本人の運転）」がもっとも多い。「30 歳代」を除き、各年代で低い利用割合ではあるが「コミュニティバス（きぼう号）」の利用がみられる。



## B. 生活の満足度

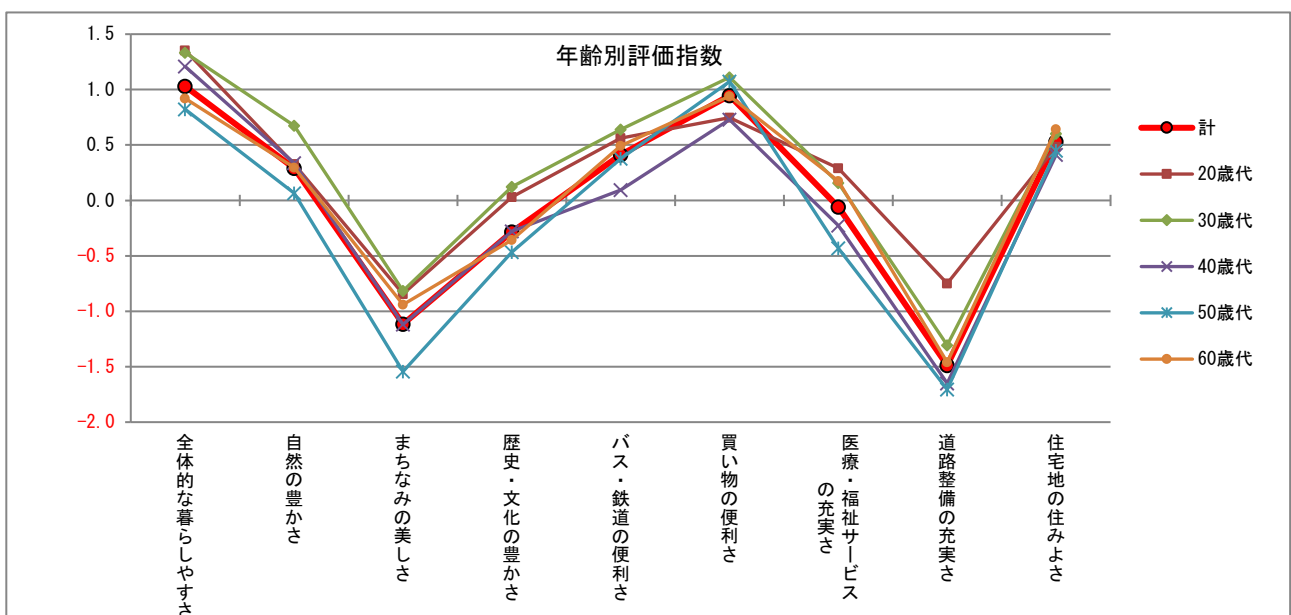
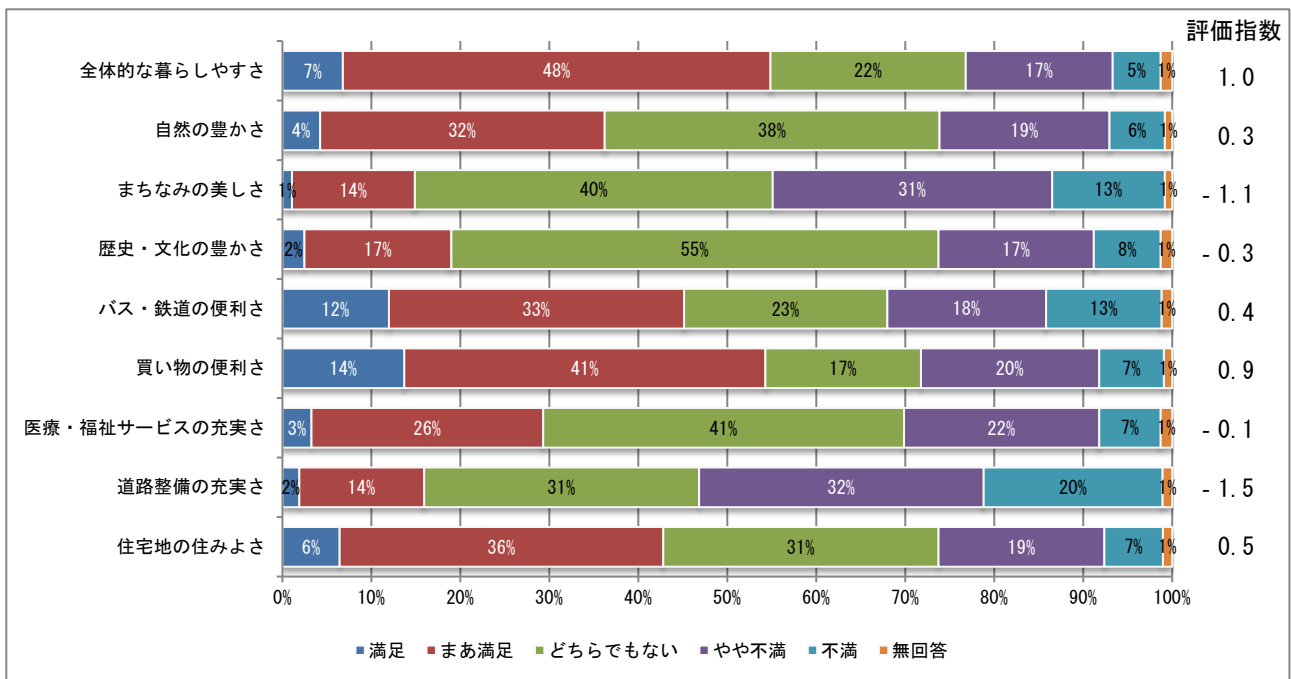
### 問7 生活の満足度は

「全体的な暮らしやすさ」の満足度は、「まあ満足」が48%でもっとも多く、次いで「どちらでもない」22%、「やや不満」17%である。「満足」と「まあ満足」を合わせると55%で、これに対し「不満足」と「やや不満」を合わせた39%を16ポイント上回っている。

各設問項目について、満足度の評価指数設定を行い比較すると、満足が不満足を上回るプラスポイントの項目は「買い物の便利さ」プラス0.9、「住宅地の住みよさ」プラス0.5、「バス・鉄道の便利さ」プラス0.4、「自然の豊かさ」プラス0.3である。一方、マイナスポイントの項目は「道路整備の充実さ」マイナス1.5、「まちなみの美しさ」マイナス1.1である。

評価指数を回答者の年代別にみると、「30歳代」はすべての設問項目において全体の計（平均）の満足度評価を上回っている。「20歳代」でも多くの設問項目で高評価を得ている。一方、「40歳代」「50歳代」では評価の低い設問項目が多くなっている。

\*満足度の評価指数：「満足」をプラス5ポイント、「まあ満足」プラス3ポイント、「どちらでもない」0ポイント、「やや満足」マイナス3ポイント、「不満」マイナス5ポイントに設定し、回答者の平均値を算出し評価指数とする。

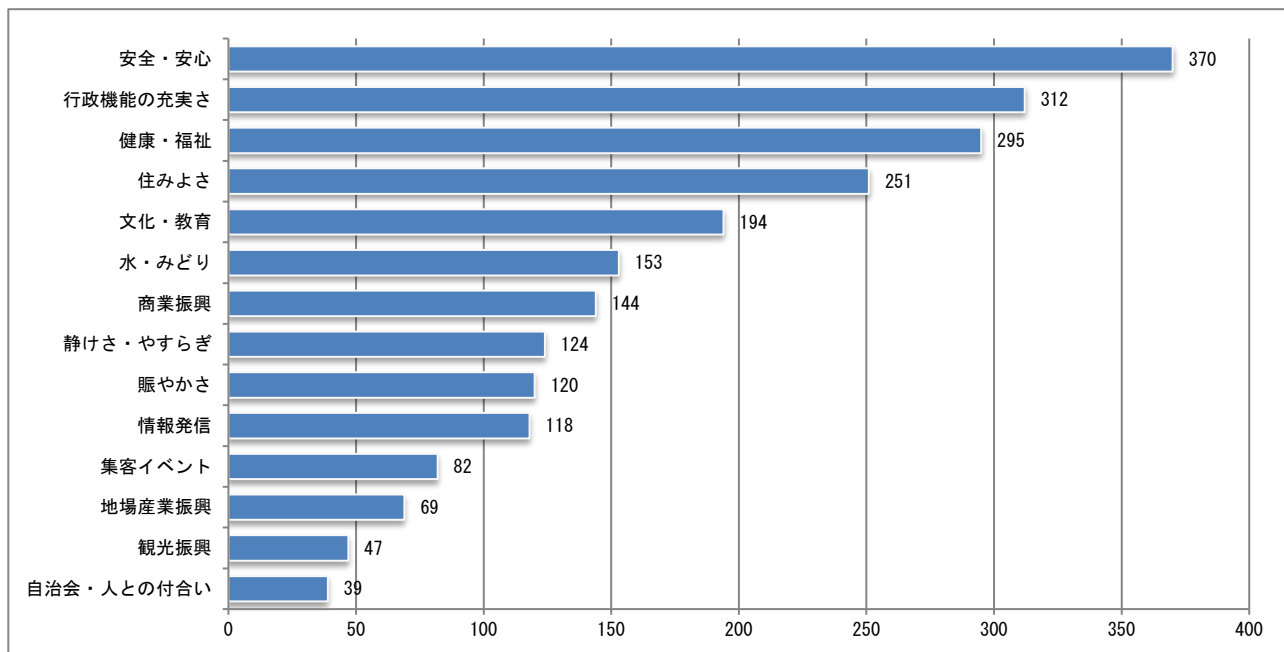


### C. シビックコア周辺地区について

#### 問 8-1 シビックコア周辺地区のまちづくりでは、どのようなキーワードが重要か（3つまで選択）

シビックコア周辺地区のまちづくりで重要なキーワードとしては、「安全・安心」がもっとも多く、次いで「行政機能の充実さ」「健康・福祉」「住みよさ」「文化・教育」の順が多い。

この重要なキーワードの順位を回答者の年代別にみると、「40歳代」の一部を除き同じ傾向にあり、まちづくりのキーワードに対する意見は年齢による相違が少ない。



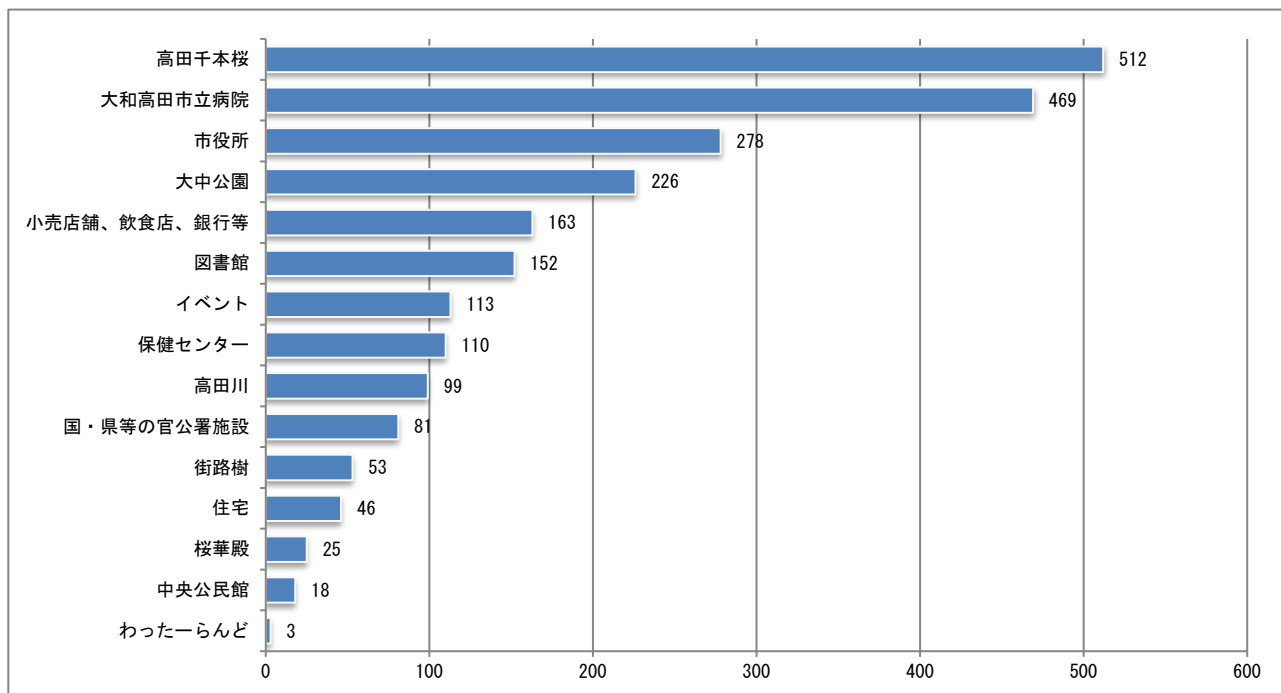
	計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
安全・安心	15.8%	15.0%	19.4%	17.0%	15.3%	14.4%
行政機能の充実さ	13.3%	10.6%	10.1%	13.6%	14.7%	13.8%
健康・福祉	12.6%	10.0%	12.5%	10.5%	13.5%	13.5%
住みよさ	10.7%	13.3%	12.8%	12.4%	10.0%	9.0%
文化・教育	8.3%	8.3%	7.3%	6.2%	8.5%	9.5%
水・みどり	6.5%	6.7%	5.9%	7.4%	6.8%	6.0%
商業振興	6.1%	6.7%	5.6%	6.7%	4.9%	7.0%
静けさ・やすらぎ	5.3%	6.1%	3.8%	4.8%	5.6%	5.6%
賑やかさ	5.1%	5.0%	5.2%	6.5%	4.9%	4.6%
情報発信	5.0%	3.3%	3.8%	4.1%	5.3%	6.1%
集客イベント	3.5%	6.7%	4.9%	3.3%	2.9%	2.9%
地場産業振興	2.9%	2.2%	2.4%	2.9%	3.2%	3.1%
観光振興	2.0%	3.9%	3.5%	2.2%	1.4%	1.5%
自治会・人との付き合い	1.7%	0.0%	1.4%	0.7%	1.8%	2.6%
その他	1.2%	2.2%	1.4%	1.7%	1.2%	0.4%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

\*  : 各年代で1番目に多い項目  : 各年代で2~5番目に多い項目

問 8-2 シビックコア周辺地区のまちづくりでは、特に大切にすべき資源・施設は（3 つまで選択）

シビックコア周辺地区のまちづくりで特に大切にすべき資源・施設は「高田千本桜」がもっとも多く、次いで「大和高田市立病院」で、この 2 つは特に多い。この他「市役所」「大中公園」「小売店舗、飲食店、銀行等」「図書館」の順で多い。

回答者の年齢別にみると、全体での上位の 5 項目については各年代とも回答傾向とほぼ同じであるが、「20 歳代」では、第 4 位に「図書館」、第 5 位に「イベント」が入っている。

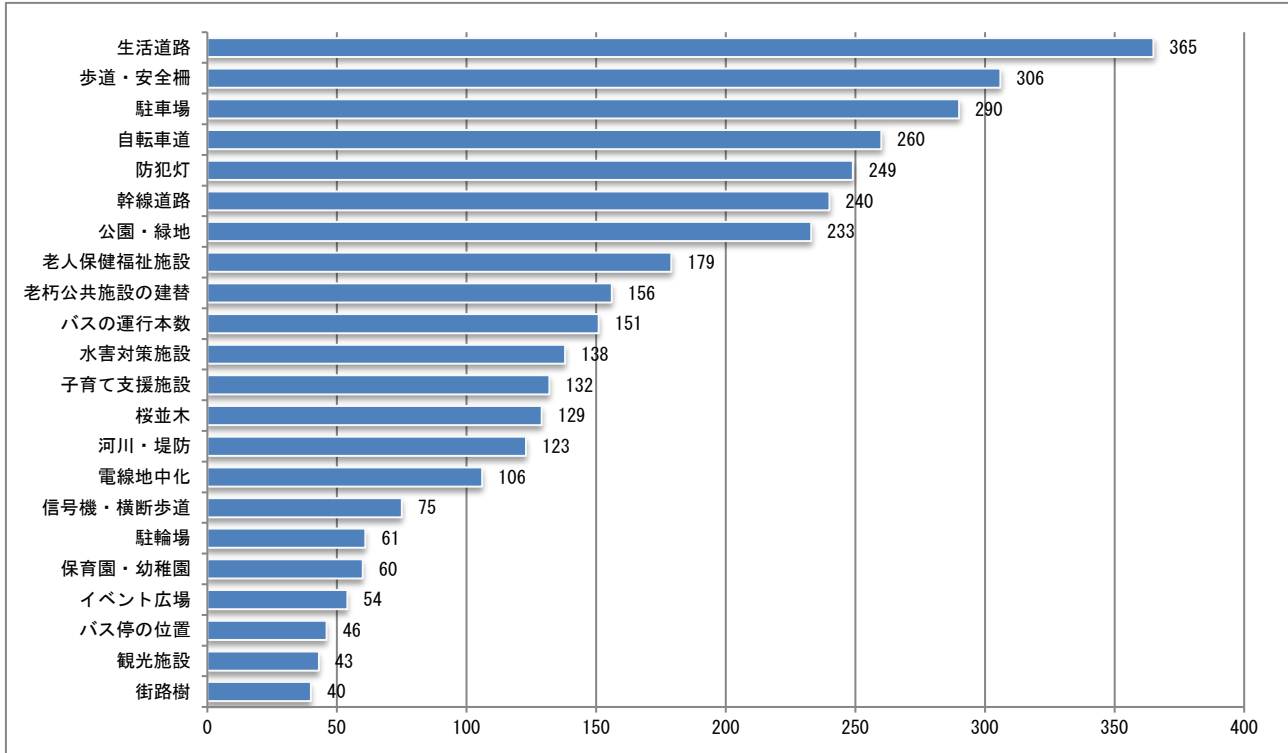


	計	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代
高田千本桜	21.6%	23.6%	26.0%	25.5%	20.0%	19.1%
大和高田市立病院	19.8%	18.5%	16.3%	17.2%	20.6%	22.1%
市役所	11.8%	8.4%	9.0%	11.0%	12.3%	13.4%
大中公園	9.6%	6.7%	14.0%	11.0%	7.4%	9.5%
小売店舗、飲食店、銀行等	6.9%	6.7%	4.3%	6.6%	8.0%	7.1%
図書館	6.4%	7.9%	8.0%	6.1%	6.2%	5.9%
イベント	4.8%	7.3%	4.3%	5.1%	5.0%	4.0%
保健センター	4.7%	4.5%	4.0%	4.7%	4.1%	5.4%
高田川	4.2%	2.8%	5.0%	4.2%	5.3%	3.3%
国・県等の官公署施設	3.4%	2.2%	0.7%	2.7%	4.5%	4.2%
街路樹	2.2%	1.1%	1.0%	2.7%	2.7%	2.3%
住宅	1.9%	4.5%	3.7%	1.5%	1.7%	1.2%
桜華殿	1.1%	3.4%	2.0%	0.7%	0.7%	0.6%
中央公民館	0.8%	1.2%	0.7%	0.2%	0.6%	1.1%
わったーらんど	0.1%	0.6%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%
その他	0.7%	0.6%	1.0%	0.8%	0.7%	0.6%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

\*  : 各年代で 1 番目に多い項目  : 各年代で 2~5 番目に多い項目

問 8-3 シビックコア周辺地区のまちづくりでは、特に整備・改善してほしいのは（5 つまで選択）

シビックコア周辺地区のまちづくりでは、特に整備・改善してほしい上位 5 項目は「生活道路」「歩道・安全柵」「駐車場」「自転車道」「防犯灯」で、いずれも道路空間に関するものである。  
回答者の年齢別にみると、各年代とも全体の回答傾向とほぼ同じであるが、「20 歳代」の「子育て支援施設」が上位 5 位に入っているのが他の年代と異なる。



	計	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代
生活道路	10.5%	7.8%	10.3%	11.7%	11.1%	10.1%
歩道・安全柵	8.8%	10.0%	11.7%	7.9%	9.1%	7.7%
駐車場	8.3%	5.9%	8.3%	10.0%	7.6%	8.6%
自転車道	7.5%	7.8%	7.1%	8.8%	6.9%	7.4%
防犯灯	7.2%	8.9%	7.8%	7.9%	6.7%	6.5%
幹線道路	6.9%	5.9%	5.3%	8.8%	6.6%	7.0%
公園・緑地	6.7%	6.3%	7.6%	6.5%	6.5%	6.8%
老人保健福祉施設	5.2%	3.0%	2.5%	3.6%	5.8%	6.9%
老朽公共施設の建替	4.5%	3.3%	4.4%	4.4%	5.1%	4.4%
バスの運行本数	4.3%	4.8%	3.0%	3.7%	5.0%	4.6%
水害対策施設	4.0%	4.1%	3.9%	4.1%	4.3%	3.6%
子育て支援施設	3.8%	6.7%	5.7%	2.4%	3.4%	3.5%
桜並木	3.7%	3.3%	3.4%	3.9%	3.2%	4.2%
河川・堤防	3.5%	2.6%	4.1%	3.9%	3.8%	3.1%
電線地中化	3.1%	1.9%	2.8%	2.4%	3.3%	3.6%
信号機・横断歩道	2.2%	3.0%	3.7%	1.9%	2.0%	1.7%
駐輪場	1.8%	1.2%	0.9%	2.3%	1.6%	2.1%
保育園・幼稚園	1.7%	4.1%	2.5%	1.1%	1.4%	1.5%
イベント広場	1.6%	1.9%	1.1%	1.5%	1.6%	1.7%
バス停の位置	1.3%	2.6%	0.9%	0.8%	0.8%	1.7%
観光施設	1.2%	2.2%	1.4%	0.6%	1.4%	1.2%
街路樹	1.2%	1.5%	0.5%	0.8%	1.8%	0.9%
その他	1.0%	1.2%	1.1%	1.0%	0.8%	1.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

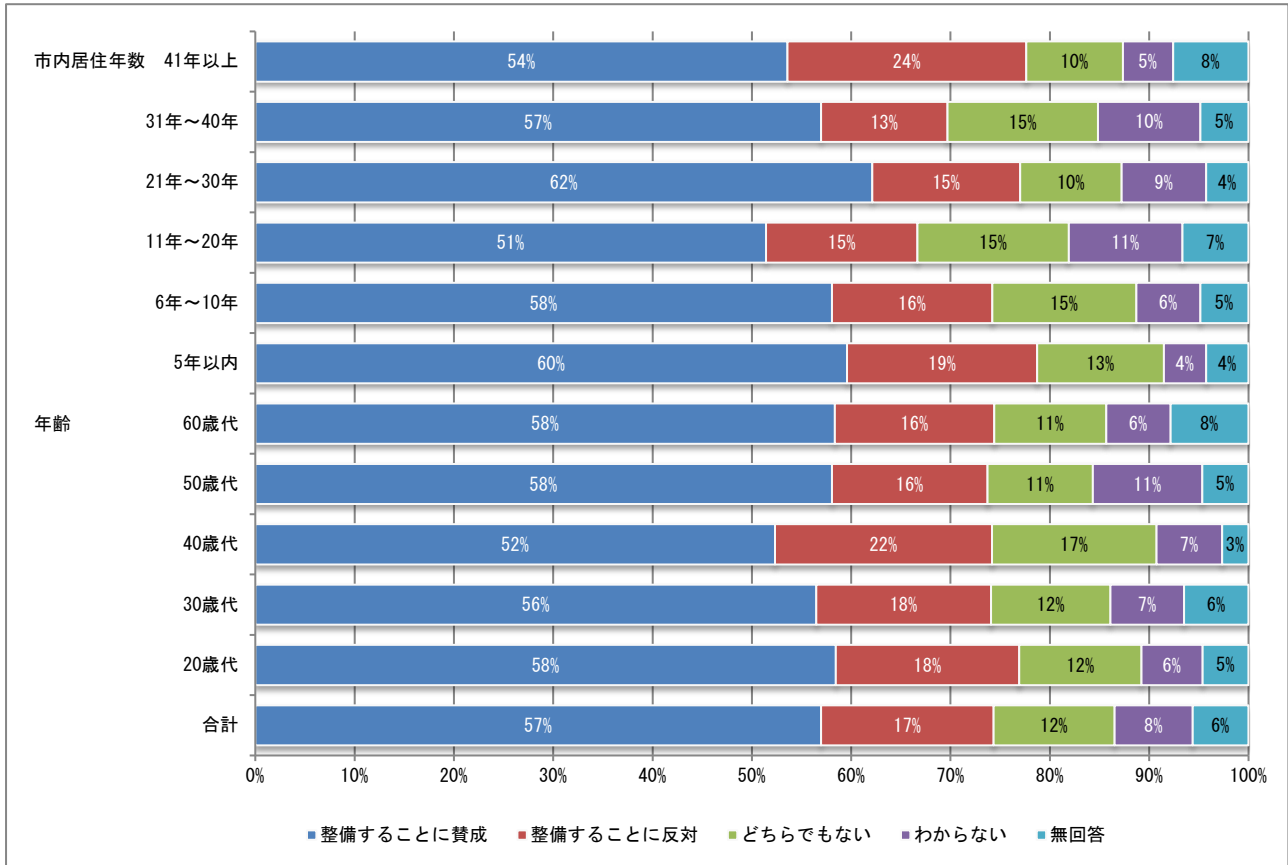
\*  : 各年代で 1 番目に多い項目  : 各年代で 2~5 番目に多い項目

## D. 事業施策案について

### 問9 まちの駅整備を民間主導等で整備する案について

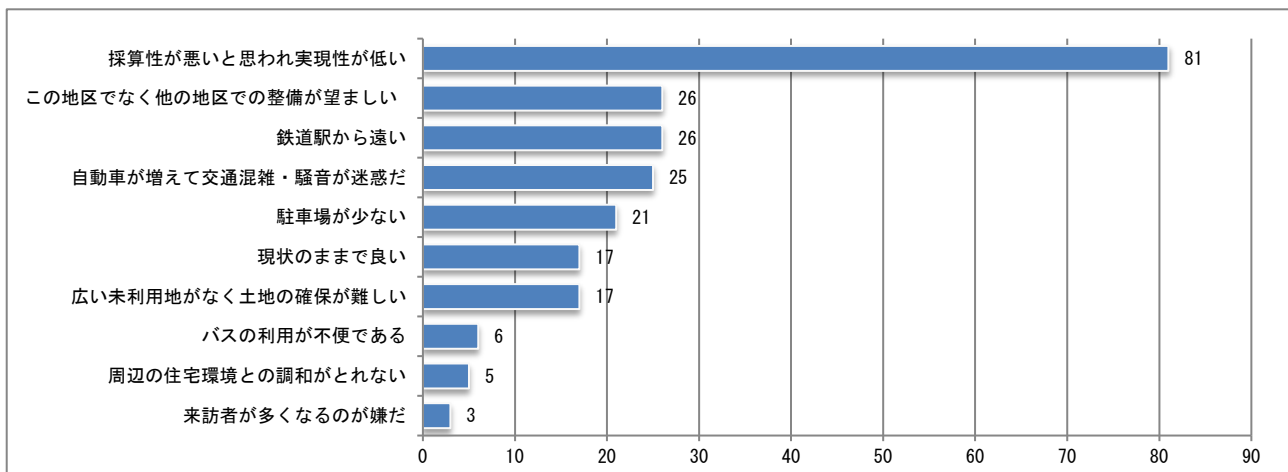
まちの駅整備を民間主導等で整備する案については、「まちの駅を整備することに賛成」が57%で、「まちの駅を整備することに反対」の17%を大きく上回っている。

市内居住年数別でみると、「賛成」が多いのは「21年～30年」62%（平均より+5ポイント）で、一方「反対」がもっとも多いのは「41年以上」の24%（同+7ポイント）である。回答者の年齢別では、「賛成」は大きな差は見られないが、「反対」では「40歳代」が22%（同+5ポイント）である。



### 問10 まちの駅を整備することに反対する理由は何ですか。（2つまで選択）

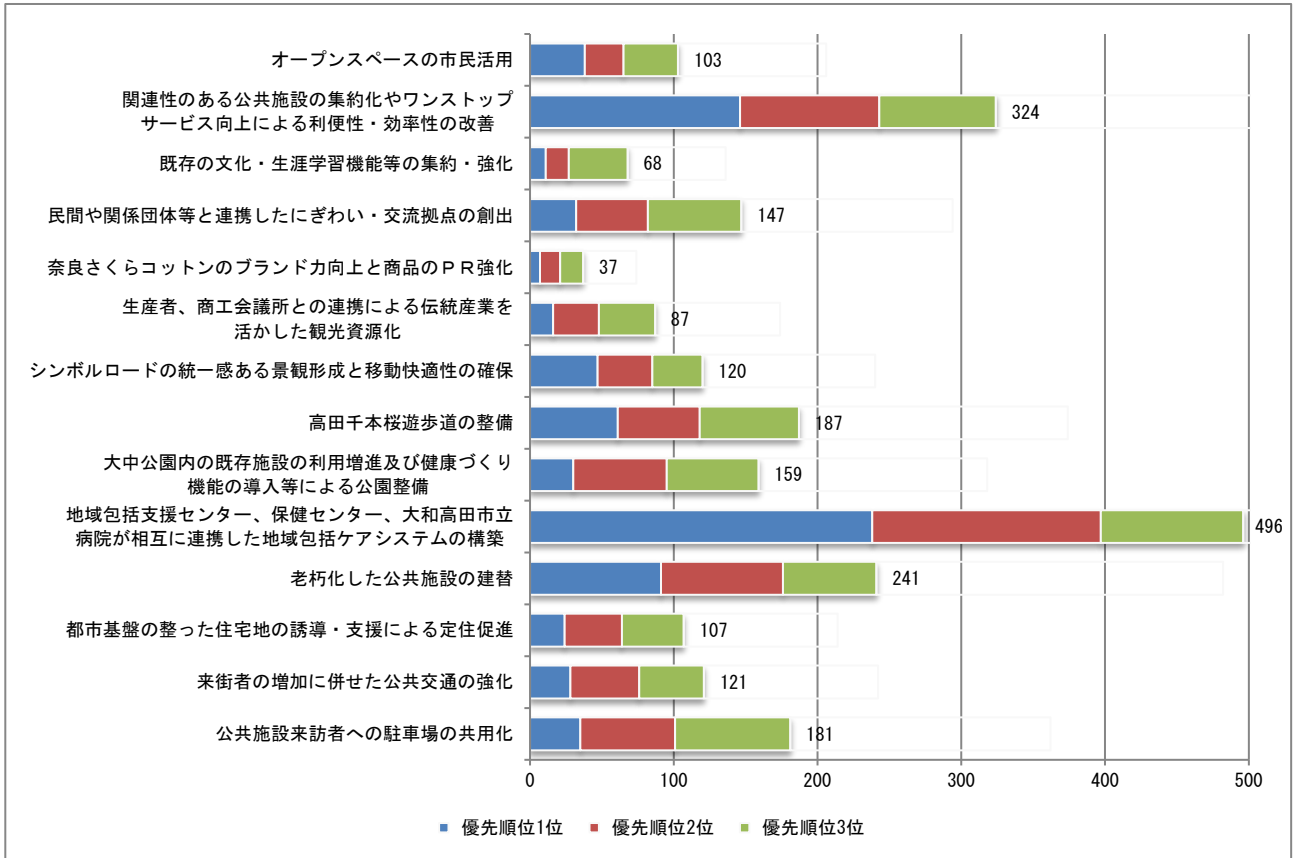
まちの駅整備に反対する理由でもっとも多いのは「採算性が悪いと思われ実現性が低い」である。次いで、「この地区でなく他の地区での整備が望ましい」「鉄道駅から遠い」「自動車が増えて交通混雑・騒音が迷惑だ」の順が多い。



問 11 施策展開の方針でもっとも優先度の高いものは

優先度の高い施策展開の方針については、優先順位の第1位、第2位、第3位を合わせると「地域包括支援センター、保健センター、大和高田市立病院が相互に連携した地域包括ケアシステムの構築」がもっとも多く、次いで多いのは「関連性のある公共施設の集約化やワンストップサービス向上による利便性・効率性の改善」「老朽化した公共施設の建替」である。

回答者の年齢別にみると、この3項目の割合の大きさの順位は同じである。



	計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
オープンスペースの市民活用	4.3%	5.0%	3.6%	4.0%	3.5%	5.3%
関連性のある公共施設の集約化やワンストップサービス向上による利便性・効率性の改善	13.6%	11.2%	13.2%	12.1%	14.7%	14.3%
既存の文化・生涯学習機能等の集約・強化	2.9%	3.4%	3.0%	2.8%	3.1%	2.6%
民間や関係団体等と連携したにぎわい・交流拠点の創出	6.2%	5.6%	6.3%	3.5%	7.5%	6.6%
奈良さくらコottonのブランド力向上と商品のPR強化	1.6%	2.8%	0.7%	2.2%	1.2%	1.6%
生産者、商工会議所との連携による伝統産業を活かした観光資源化	3.7%	1.6%	3.0%	3.3%	4.0%	4.3%
シンボルロードの統一感ある景観形成と移動快適性の確保	5.0%	4.5%	4.2%	4.7%	5.7%	5.1%
高田千本桜遊歩道の整備	7.9%	11.2%	9.5%	9.2%	6.4%	7.0%
大中公園内の既存施設の利用増進及び健康づくり機能の導入等による公園整備	6.7%	6.1%	7.9%	4.7%	6.3%	7.7%
地域包括支援センター、保健センター、大和高田市立病院が相互に連携した地域包括ケアシステムの構築	20.9%	17.3%	18.1%	19.9%	20.9%	23.1%
老朽化した公共施設の建替	10.1%	12.8%	11.8%	12.1%	9.5%	8.4%
都市基盤の整った住宅地の誘導・支援による定住促進	4.5%	2.8%	5.9%	4.0%	6.1%	3.3%
来街者の増加に併せた公共交通の強化	5.0%	8.4%	4.2%	7.6%	4.4%	3.9%
公共施設来訪者への駐車場の共用化	7.6%	7.3%	8.6%	9.9%	6.7%	6.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

\*  : 各年代で1番目に多い項目  : 各年代で2、3番目に多い項目